

第8回吹田市総合計画策定委員会 議事概要

- 1 日 時 平成24年7月30日（月） 午後3時30分から午後5時30分まで
- 2 場 所 吹田市役所中層棟4階 全員協議会室
- 3 出席者 別紙（出欠一覧）参照
- 4 配付資料 (1) 資料-1 中間報告会について
(2) 資料-2 現総合計画の施策大綱
(3) 資料-3 策定委員会進行表（7/30、8/1分）
(4) 資料-4 中間報告シート（作業部会順）
(5) 参考資料-1 施策検討シート（様式）
(6) 参考資料-2 中間報告シート（様式）

5 議事内容

(1) 中間報告会について

事務局から、資料-1、資料-2、資料-3を用いて、中間報告会の目的と進め方について説明を行った。

(2) 作業部会検討結果の報告

作業部会のうち、第2部会・第3部会・第4部会から、パワーポイント資料及び資料-4を参照しながら、検討結果の概要が報告された。

ア 第2作業部会（地域経済）

【質疑応答事項】概要

質問1：農業は基本目標に記載しないとのことだが、部会の検討対象からも外すということか。

回答1：当初は産業振興の1つの項目として扱っていたが、業として行われている農地は減っている。農業を産業の中に入れるのが難しいと判断した。

質問2：それではどの部会に入るのだろうか。

回答2：景観としての緑という視点や、食農教育としての視点が考えられる。いずれにせよ、農業は重要な要素ではあるので、景観、環境、教育などの中で扱ってはどうか。他都市では環境の一部として扱われている事例もある。

補足2：本日は中間報告であり、部会を超えた調整はこれからの課題となっている。今回は、各部会から問題提起をしてもらう主旨である。

質問3：農業について、こういう表現が望ましい、などの提案はあるか。

回答3：まだそこまで掘り下げられているわけではなく、今回は問題提起をさせていただいた。

質問4：現在のところ、農業についてはどの部会も検討していない状態ということか。

回答4：主な取組として、都市農業の推進を挙げている。

指示4：どこかで取り上げることができるよう、今後調整を進めてもらいたい。

質問5：基本目標1に「魅力あふれる商業地」とあるが、事業者にとって魅力ある場所と

という意味なのか、住民にとって魅力ある商業地という意味なのか、どちらか。

回答5：コミュニティにとって重要な役割を果たす場所だと考えている。人が行きたくなくなるような商業地をつくり、多くの人が集い、にぎわいが生まれると考えている。

指示5：産業には、工業と商業がある。事業者にとっての魅力ある環境とは、利便性が高いという要素が大きいと思われるが、「商業地」と限定すると狭い意味になってしまうのではないか。企業立地の主なメニューとして、融資、雇用、職住近接がある。そういう視点からも議論しておいてもらいたい。

イ 第4作業部会（子育て・教育）

【質疑応答事項】概要

意見1：基本目標の一つ目が、福祉・保健・医療と密接に関係している。安心して子育てできる、という部分が同じになっていることに違和感がある。子育てに関しては、第3部会に引き取らせてもらえないか。

回答1：第4部会の中でも、子育て部分の重複については議論が出ていた。整理して切り分ける必要があるだろう。

指示1：切り分けようとする、表現しにくくならないか。重ね書きもあり得ると思うので、柔軟に対応してもらいたい。

質問2：パワーポイント資料に、三位一体で取り組むと書いてある。その三位とは、学校-地域-家庭ということだが、そこに行政は入らないのか。

回答2：基本的にはこの三位で取り組むことだと考えている。安全安心と豊かな教育環境を提供することが市の役割で、いわば環境面からの下支えである。

質問3：下支えとはどういう意味か。

回答3：安全、安心、ソフト面を含む豊かな教育環境の実現のため、行政が一定の事業を行っていく。例えば学校にエアコンを設置するなど、環境面からのサポート、支援である。

質問4：四位一体ではないのか。行政の役割は支えるだけなのか。関係者の全体的な調整などは、大切な役割だと思う。生涯学習としてのスポーツについて、市民自らが楽しむスポーツは生涯学習に当てはまらないのか。

回答4：スポーツ全体が生涯学習の一環であると考えている。

質問5：健康づくりとの兼ね合いはどうなっているのか。

回答5：健康という視点では、まだ調整は行っていない。

ウ 第2作業部会（人権・文化）

【質疑応答事項】概要

質問1：女性に対するあらゆる暴力の根絶は掲げられているが、子どもや高齢者に対する暴力については記述しないのか。

回答1：女性への暴力を大きなテーマとして位置付けしたため、それだけを切り出している。

質問2：子どもや高齢者に対する暴力について、議論はされているのか。

回答2：暴力全般について、議論は行っている。ただ、調整が複雑であったため、女性に

対するものだけ切り出した。

質問3：子ども、高齢者に対する暴力が扱われるべき部会について、提案はあるか。虐待という枠の中で子どもを対象にした暴力も話し合われるのがあるのではないかと、など。

回答3：機構改革があったため、女性に着目したという経緯がある。その他についてはこれから議論を深めていく。

意見3：あらゆる暴力の否定というのが大事だと思う。子どもに関連するところで暴力の否定が出てきてもいいが。あらゆる項目に通じるベースの話である。

質問4：多文化を認め合うというのは、国内での国際交流を言及しているのか。

回答4：国内外の文化のことを意味している。

質問5：外国人による異文化を認める、ということも含んでいるということではないか。

回答5：含んでいる。

エ 第3作業部会（福祉・保健・医療）

【質疑応答事項】概要

意見1：「住み慣れた」という表現が、5、6か所出てくる。転入者や市内での移住者は対象としていないような印象を受けるが、いかがか。

回答1：「住み慣れた」とすることにより、地域で支え合うというイメージを強調している。

意見2：地域で支え合うというのは大切なことだが、住み慣れたという表現を繰り返す必要はあるのか。市民の目に触れるものであるため、勘違いされないような表現であるべき。

回答2：現行計画でつかわれている表現である。一度検討する。

質問3：これまでの国の政策の中心というと福祉施設のことで、大きな施設を郊外に立地させてきた流れがある。今後はそうではなく、身近な場所で福祉のサービスが受けられるようにという思いから、住み慣れたという表現が出てきているのではないかと。

回答3：御指摘のとおりである。

オ 第2作業部会（市民自治）

【質疑応答事項】概要

意見1：市民相談室の柱として、広聴活動について書くことになっている。書かないのであれば、理由も示してもらいたい。

回答1：簡潔な内容にしたかったため、割愛した。第1部会で議論すべきだと考えている。

質問2：「新たな地域組織の推進」とあるが、市民・地域からその意味について問合せがあった場合どう回答するのか。

回答2：市では「(仮称) 地域委員会」を検討中であり、これを意味している。ただし名称までは明記しない。

意見3：発表の際にリスクがあるという説明があったが、繰り返し表現されており強調されているように見える。

回答3：マニフェスト型総合計画に近い形で提案させてもらっている。御意見があればお願いしたい。

意見4：首長のマニフェストと連動していくという方針で作成している。施策の方向性を発信する必要があると考えている。

質問5：概要文に「地域コミュニティの活性化及び市民公益活動の活発化」とある。団体でいうと、地縁団体とNPOをイメージしているのだろうか。

回答5：前者は地縁団体、後者はNPOを意味している。

(3) その他

指示1：政策と施策の分類について、部会の中、並びに部会を超えて整理が必要になってきているように思う。例えば、子育ての項目についての議論など。総合計画の施策は、分野にまたがることもあるので、表現も重複する場合はあり得るが、それぞれの関係が明確になっていれば問題はないと考えている。幼保一元化は大きな流れでもあるので、子育てが教育に入っているでもいいのではないかと。重複しないように気にしすぎて、あまりに縦割りになってしまわないように注意してもらいたい。

(4) 事務局からの連絡

今回は8月1日である。資料を御持参いただきたい。

1 委員

	構成委員	第5回 (4/16)	第6回 (5/10)	第7回 (5/29)	第8回 (7/30)
1	富田副市長		×	×	
2	山中副市長				
3	清多水道事業管理者				
4	牲川病院事業管理者				
5	西川教育長				
6	赤野危機管理監				×
7	川下総務部長				
8	太田行政経営部長			×	
9	木下市民生活部長				
10	西山人権文化部長				
11	平野まち産業活性部長			(代理) 中江次長	
12	赤松子ども部長				(代理) 増山次長
13	門脇福祉保健部長				
14	羽間環境部長				
15	寶田都市整備部長	(代理) 松本室長	(代理) 野上次長	(代理) 松本室長	(代理) 野上次長
16	森道路公園部長	(代理) 石橋次長			
17	重井下水道部長				
18	原田会計管理者			(代理) 榎井次長	
19	松中消防長		(代理) 村上次長		
20	川上水道部長				
21	坂田市民病院事務局長			×	
22	徳田教育総務部長				
23	梶谷学校教育部長				×
24	上原教育委員会事務局理事				
25	原田地域教育部長				

24

23

22

23

2 事務局

1	美馬次長			×	
2	井尻次長				
3	春藤室長				×
4	木下総括参事				
5	岸本参事				
6	津田主査				
7	十川係員				
8	稲見係員				
9	藤田臨時雇用員				

8

8

7

8